

芦屋市就学前カリキュラム

—質の高い教育・保育の充実を目指して—

平成27年3月

芦屋市・芦屋市教育委員会

目 次

I 基本的事項

ページ

- | | | |
|---|-------------------|---|
| 1 | 作成の背景と趣旨 | 1 |
| 2 | 芦屋市就学前カリキュラムの位置づけ | 2 |

II 就学前カリキュラムの具体的事項

- | | | |
|---|------------------------|----|
| 1 | 指導面での8つの重点項目 | 3 |
| 2 | 運営面での3つの留意事項 | 4 |
| 3 | 年齢別教育・保育課程について | 4 |
| | (1) 年齢別教育・保育課程の実施にあたって | |
| | (2) 年齢別教育・保育課程 | |
| | 【0歳児】 | 5 |
| | 【1歳児】 | 6 |
| | 【2歳児】 | 7 |
| | 【3歳児】 | 8 |
| | 【4歳児】 | 9 |
| | 【5歳児】 | 10 |

資料編

- | | | |
|---|-----------------------------|----|
| 1 | 芦屋市就学前カリキュラムに関連する計画（関係部分抜粋） | |
| | (1) 第4次芦屋市総合計画 | 13 |
| | (2) 芦屋市教育振興基本計画 | 14 |
| | (3) 芦屋市子ども・子育て支援事業計画 | 15 |
| 2 | 芦屋市就学前カリキュラム作成の経過 | 17 |
| 3 | 芦屋市就学前カリキュラム作成会議要領 | 18 |

I 基本的事項

1 作成の背景と趣旨

21世紀は、少子化高齢化、高度情報化、国際化などが急速に進み、「知識基盤社会」化、グローバル化の時代であるといわれています。問題意識をもち、自ら考え、人と交流しながら課題に向き合い、心身ともにたくましく自分の人生を生きる力の育成がますます重要になります。

乳幼児期の教育については、平成18年に改正された教育基本法において、「幼児期の教育は生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものである」と規定されました。平成20年に、幼稚園教育要領、保育所保育指針が改訂されました。

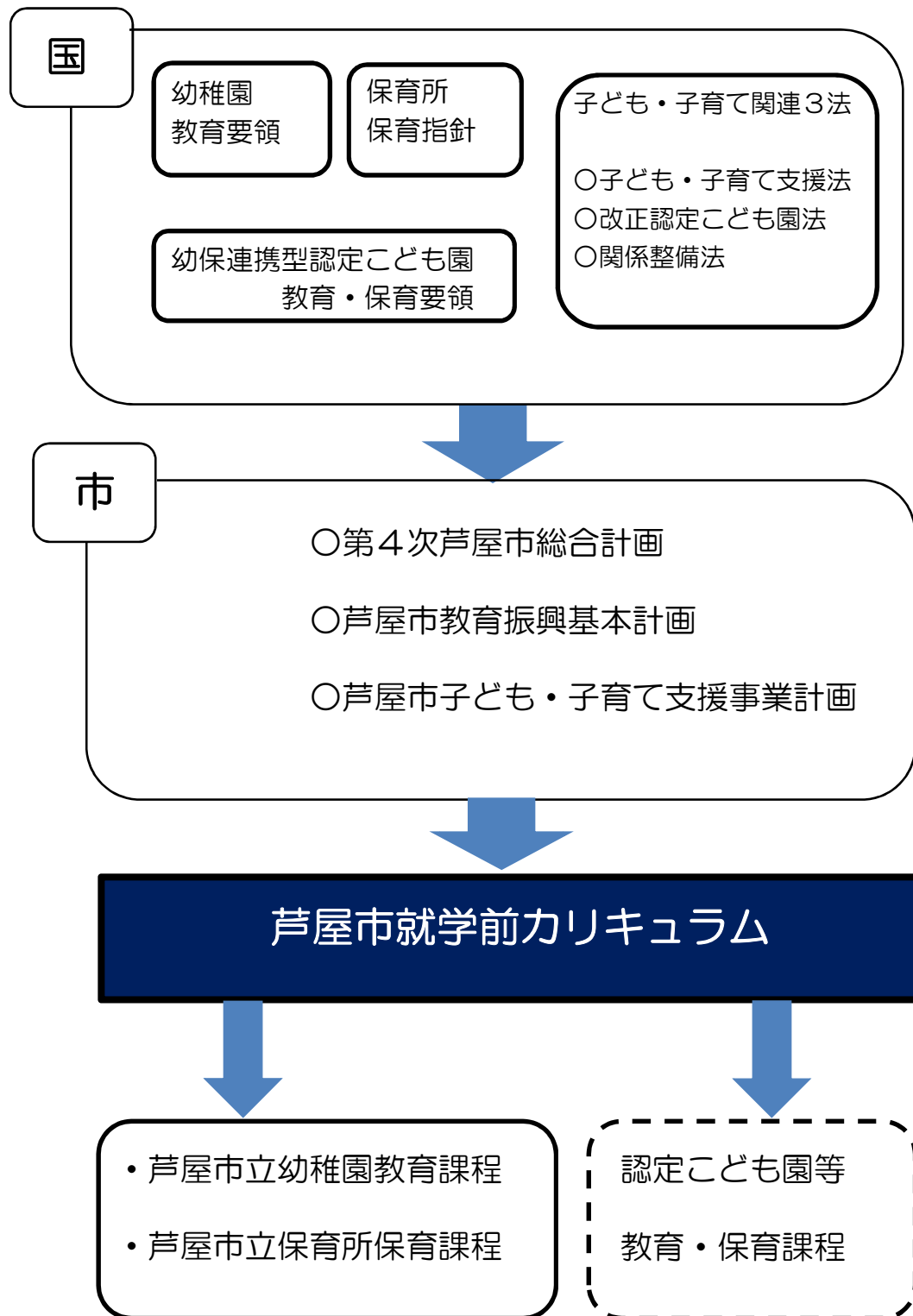
さらに、平成24年8月には、「子ども・子育て関連3法」が成立し、この3法に基づいて、平成27年4月から「子ども・子育て支援新制度」が実施されます。この制度では、幼児期において「保護者の就労に関わらず等しく質の高い教育・保育が受けられる」ことを目指しています。

将来に向けて、芦屋市として、市立幼稚園・市立保育所が取り組んでいる教育と保育の良さを引き継ぎつつ、すべての就学前教育・保育施設において、芦屋らしい質の高い教育・保育が推進されることを願って、本市の標準的なカリキュラムを作成しました。

今後は、市立幼稚園・市立保育所においては、本カリキュラムに基づき各幼稚園・保育所の実態を勘案しそれぞれの特色を生かした教育・保育活動を展開することとします。また、本市が関係する教育・保育施設等においても、本カリキュラムに準拠した活動を行うものとします。

本カリキュラムが、それぞれの施設における教育・保育の内容の充実に資するとともに、未来を担う本市の子ども達の学びと育ちに寄与することを願っています。

2 芦屋市就学前カリキュラムの位置づけ



Ⅱ 就学前カリキュラムの具体的事項

1 指導面での8つの重点項目

No.	項目	内容
1	基本的生活習慣の形成	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生活に必要な基本的な習慣が身に付くよう、子どもが自分でしようとする気持ちを尊重しながら、一人一人の状態に応じた援助をします。 ○ 自分の体のことを知り、自分を大切にすることを育めます。
2	自然環境を生かした保育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○ 身近な自然を遊びに生かし、見る・触れる・試す・考える等の経験を、様々な表現活動等に展開し、豊かな感性を育みます。 ○ 動植物に親しみを持ったり、大切にしたりする経験を通して、生命の尊さに気付かせていきます。
3	人と関わる力の基礎の育成	<ul style="list-style-type: none"> ○ 乳児期は、身近な大人との信頼関係の構築を大切にします。 ○ 幼児期は、様々な感情体験を味わわせながら、「協同する経験」を積み重ね、自律性や社会性を育成します。
4	体験活動を生かした食育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○ 野菜、果物の栽培や給食・会食の手伝い等の活動を通じた食育を進めます。 ○ 「楽しい食事」「食への意欲、興味、関心」「共食（きょうしょく）」を大切に、食習慣を育成します。
5	特別支援教育・統合保育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○ 配慮を要する子ども一人一人に応じた支援をします。 ○ 集団生活の中で、互いに認め合い、助け合う気持ちや思いやる心を育て、共に育ち合う教育・保育を目指します。
6	防災教育・安全教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○ 発達に応じた災害から生命を守る行動を伝えるとともに、安全教育において危険回避能力の育成を図ります。 ○ 阪神・淡路大震災の経験と教訓を子どもたちに語り継ぎます。
7	読書活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○ 読み聞かせの活動を大切に、本が好きな子どもに育めます。 ○ お話の世界を通して、様々な表現活動を展開します。
8	地域・小学校との連携の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○ 近隣の小学校との連携により、小学校入学を楽しみにする気持ちを膨らませ、円滑な接続に努めます。 ○ 地域の異年齢児や高齢者等と交流するなど、地域人材を活用し、人とのつながりを大切にします。

2 運営面での3つの取組事項

No.	項目	内容
1	保護者支援	○ 保護者の抱えている悩みに寄り添うとともに、子育てを通して保護者自身が子どもとともに育つ場を提供します。 ○ 保護者同士が交流する機会や環境づくりに努めます。
2	保育者の資質向上	○ 保育者が、常に発達段階に応じた教育・保育をするために、研究会の開催や、内外の研修等を通じ、必要な知識及び技術の習得、維持及び向上に努めます。
3	地域への子育て支援	○ 園庭開放や未就園児交流会、子育て相談等、地域の子育ての拠点となるよう取り組みます。

3 年齢別教育・保育課程について

(1) 年齢別教育・保育課程の実施にあたって

年齢別教育・保育課程は、発達段階に応じて行う標準的な教育・保育について示したものです。

この中で示す「ねらい」は、子どもの発達を踏まえ、安定した生活や、充実した活動をするために保育者が行う事項と、就学前までに育つことが期待される生きる力の基礎となる心情・意欲・態度等の事項です。「内容」は、ねらいを達成するために、子どもに経験させたい事項です。

「養護」とは、子どもの生命の保護及び情緒の安定を図るために、保育者が行う援助や関わりです。

「教育」とは、子どもが健やかに成長し、その活動がより豊かに展開されるための援助です。乳児期は、身近な大人との信頼関係の基、情緒の安定を図ることが重要で、個人差が月齢等により極めて大きく、生活と遊びが一体的に展開していく時期なので、内容を総合的に示しています。幼児期は、幼児の発達の側面から「健康」、「人間関係」、「環境」、「言葉」、「表現」の5領域別に示しています。

保育の実施に当たっては、子ども一人一人の発達の過程やその連続性を踏まえ、ねらい及び内容を柔軟に取り扱うとともに、教育及び保育の内容が相互に関連を持つよう留意することとします。

(2) 年齢別教育・保育課程

【0歳児】 〇教育 ●養護

ねらい	Ⅰ期（4・5月）	Ⅱ期（6月～8月）	Ⅲ期（9月～12月）	Ⅳ期（1～3月）
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ●一人一人の子どもの生活リズムに配慮しながら、保育者への依存や生理的な欲求を満たし、安眠を図る ●病気の予防、保健衛生に配慮し安全な環境を整える ●安心できる人的物的環境の中で、触れ合い遊びを十分に行い、感覚の働きが豊かになるようにする ●やさしく応答しながら、喃語を受け止め、発語を促す ●玩具、遊具の安全を確認したり、洗って消毒したりして、清潔にしておく。また一人一人の発達に応じた物を選んでおく 	<ul style="list-style-type: none"> ●体調や気温に留意しながら、沐浴や水遊びをして気持ちよく過ごせるようにする ●一人一人の発達を把握し、それに応じた生活リズムを整えていく ●語りかけを多くし、喃語や片言を受け入れ、言葉の発達を促す 	<ul style="list-style-type: none"> ○保育者との間わりを通して模倣遊びを楽しむ 	<ul style="list-style-type: none"> ○保育者や友達と同じことをしたり、真似たりして一緒にいることを楽しむ
期のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ●家庭との連携を密にし、安定した生活が送れるようにする ●子どもの欲求を丸ごと受け入れながら、一人一人の生活リズムを整えていく ●保育者との触れ合いを十分にもつ 			
養護	<ul style="list-style-type: none"> ●一人一人の健康状態や発達、発達状態を把握していく ●保育者が一人一人に継続して丁寧に間わりながら安心して過ごせるようにする 			<ul style="list-style-type: none"> ●冬の健康管理に十分に気を付ける
内容	<ul style="list-style-type: none"> ○外気浴を喜ぶ ○十分に体を動かし遊ぶことを喜ぶ ○保育者と一緒に触れ合い遊びを楽しむ ○砂や水の感触を楽しむ ○散歩に出かけ、いろいろな物に親しむ ○自然や小動物に親しむ ○好きな玩具に興味を持つ ○生活や遊びの中で手先を使うことを楽しむ ○好きな絵本を繰り返し見たり、聞いたりすることを喜ぶ ○保育者の働きかけに喃語や片言で応じようとする ○歌や手遊び、音楽を喜ぶ 			
健康・人間関係・環境・言葉・表現				

【1歳児】 ○教育 ●養護

	I期 (4・5月)	II期 (6月～8月)	III期 (9月～12月)	IV期 (1～3月)
<p>ね ら い</p> <p>○安心できる保育者との関係の中で生活のリズムを身に付け全身運動を楽しむ ○身近な人や物に興味を持ち関わって遊ぶ ○保育者の話しかけや働きかけにより言葉を使うことを楽しむ</p>	<p>○新しい環境や保育者に親しむ ●家庭との連絡を密にして、一人一人をしっかき受け止め、関わっていく。</p>	<p>○保育者と一緒に体を動かすことを楽しむ ●生理的欲求を満たし、健康で衛生的な生活が送れるようにする ●子どもの気持ちを受け止め、丁寧に関わること、情緒を安定させて、安心して生活できるようにする</p>	<p>○身近な生き物や自然物に興味を持つ ○保育者と一緒に体を動かすことを楽しむ</p>	<p>○簡単な生活習慣に興味を持ち自分ですら ○身の回りの様々な物に好奇心や関心を持つ</p>
<p>養 護</p>	<p>●一人一人の健康状態や発育、発達状態を把握していく ●一人一人の気持ちを受け止め、安心して過ごせるようにする</p>			
<p>内 容</p> <p>健康・人間関係・環境・言葉・表現</p>	<p>○手づかみやスプーンを使って一人で食べようとする ○一回一回睡眠をとる ○便器に座ってみようとする ○尿意を感じたり、出たりしたら動作や言葉で知らせる ○パンツで過ごす ○着脱に興味を持つ ○汚れたことに気付き体をきれいにしてもらう ○保育者と一緒に散歩や戸外遊びを楽しむ</p>	<p>○保育者のそばで安心して過ごす ○保育者や友達と一緒にいることを喜ぶ</p>	<p>○身の回りの物に興味を持つ</p>	<p>○身の回りの物に興味を持つ</p>
	<p>○保育者の話しかけに表情や動作で答える ○片言やオウム返しをいう ○二語文で話す ○自分の名前を呼ばれたら返事をする ○友達の名前を聞き分ける ○絵本を見たり読んでもらったりする</p>	<p>○身の回りの物に興味を持つ</p>		
	<p>○歌や音楽を喜んで聞く ○保育者と一緒に手遊びを楽しむ ○リズムに合わせて身体を動かすことを喜ぶ ○色々な素材に触れる</p>	<p>○簡単な歌の一部を歌うことを楽しむ</p>		

【2歳児】 ○教育 ●養護

	I期 (4・5月)	II期 (6月～8月)	III期 (9月～12月)	IV期 (1～3月)
<p>ねらい</p> <p>○安全な場所で保育者と一緒に基本的な全身運動を楽しむ ○簡単な身の回りのことを手伝ってもらいながら自分でする ○身の回りの人や小動物、植物への関心を広げ関わって遊ぶ ○保育者や友達と一緒に健放遊びや、みたくて遊びを楽しむ</p>	<p>○新しい環境や保育者に慣れ生活の仕方を知る ○保育者と一緒に好きな遊びを楽しむ ●家庭との連携を密にして一人一人をしつかり受け止め関わっていく</p>	<p>○夏の自然に親しみ開放的な遊びを楽しむ ○保育者の援助を受けながら、身の回りのことを自分でしようとする ●雨期や夏の保健衛生に注意し快適に過ごせるようにする ●大胆な遊びが出来るように安全な環境を用意する</p>	<p>○身近な生き物や自然に触れて遊ぶ ○保育者や友達と体を動かして遊ぶことを楽しむ ○いろいろな遊びを通して友達と遊ぶことを楽しむ ●戸外遊びや散歩などで身体を動かした後は十分水分補給をする ●保育者が仲立ちになってお互いの気持ちたちが満たされるようにする</p>	<p>○保育者や友達と一緒にいろいろなごっこ遊びを楽しむ ○大きいクラスになることを喜ぶ ●気温や活動を考えて衣服の調節をする ●子どもが自主的に行動できるように余裕を持って接する</p>
<p>養護</p> <p>●一人一人の健康状態を把握していく ●一人一人の気持ちを受け止め、安心して過ごせるようにする</p>				
<p>健康・人間関係</p> <p>○スプーンを正しく持って食べる ○尿意や便意が分かり知らせる(睡眠時もパンツで過ごす) ○パンツ、ズボン、靴が大体はける ○ブクブクうがいをする</p>	<p>○促されて食器に手を添える ○行きたい時にトイレに行く ○促されて鼻汁をかんだり拭いたりする</p>	<p>○嫌いな物でも促されて食べる ○ボタンの掛け外しをしようとする ○汚れたら手伝ってもらい着替えようとする</p>	<p>○食べ物の名前に興味を持つ</p>	
<p>環境・言葉・表現</p> <p>○保育者に見守られながら好きな遊びを楽しむ ○保育者と一緒に後片付けをする ○好きな絵本や紙芝居を繰り返し楽しむ</p>	<p>○友達とぶつかり合いながらも自分の要求を出し関わろうとする ○友達と遊ぶことを喜ぶ</p>	<p>○簡単な手伝いを喜んで</p>	<p>○生活やごっこ遊びを通して言葉のやりとりを楽しむ</p>	
<p>養護</p> <p>○保育者の歌や手遊びを喜んで聞いたりまねたりする</p>	<p>○リズムに合わせて身体を動かすことを喜ぶ</p>	<p>○開放的な遊びを楽しむ</p>	<p>○曲に合わせて手を打ったり楽器を鳴らしたりすることを喜ぶ</p>	
<p>健康・人間関係</p> <p>○手先を使った遊びを楽しむ ○なぐり描きを楽しむ</p>	<p>○色々な素材に触れる</p>			

【3歳児】 〇教育 ●養護 (◎：3歳児からの入園児)

ねらい	I期(4・5月)	II期(6月～8月)	III期(9月～12月)	IV期(1～3月)
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 〇保育者の援助を受けながら、自分で遊べることに喜びを持ち基本的な生活習慣を身に付ける 〇ごっこ遊びを通して友達と遊ぶことを楽しむ 〇身近な動植物や自然、社会事象などに触れて遊ぶことを楽しむ 〇自分の思いや、してほしいことなど生活に必要なことを言葉で表す 	<ul style="list-style-type: none"> 〇好きな遊びを見付け、友達と一緒に遊ぶことを楽しむ 〇簡単な身の回りの始末はできるだけ自分でする 〇夏の遊びを保育者や友達と存分に楽しみ開放感を味わう ●衛生・健康管理に気を付け、快適で健康に過ごせるようにする ●一人一人の要求や個人差に対応しながら保育者や友達と遊ぶ楽しさを知らせていく 	<ul style="list-style-type: none"> 〇自分で遊べることに喜びを持ちながら基本的な生活習慣を身に付けていく 〇友達と一緒に伸び伸びと表現し、全身を使って遊ぶことを楽しむ ●季節の変化に気を付け、休息を十分に取、安全で健康な生活が送れるようにする ●保育者との信頼関係の中で、自分の気持ちや考えを表すことができるようにする 	<ul style="list-style-type: none"> 〇積極的に戸外遊びを楽しむ 〇絵本・童話を見たり聞いたりして表現することを楽しむ 〇進級への期待を持って意欲的に活動する 〇自分でできたことを喜び、やってみようとする気持ちをもち、一人一人の成長を認め、自信を持って楽しく生活できるようにする
養護	<ul style="list-style-type: none"> ●一人一人の健康状態を把握していく ●一人一人の気持ちや特徴を理解し受けとめ、楽しい雰囲気の中で過ごせるようにする 	<ul style="list-style-type: none"> ●一人一人の健康状態を把握し、夏を健康に過ごさせる ●一人一人が好きな遊びを見付け満足できるようにする 	<ul style="list-style-type: none"> ●一人一人の発達に応じた適度な運動と休息をとれるようにする 	<ul style="list-style-type: none"> ●室内の換気に配慮し手洗いうがいを習慣付けるようにする ●個人差を配慮し遊びや生活習慣に自信を持って取り組めるようにする
健康	<ul style="list-style-type: none"> ◎保育者と一緒に着替えや身の回りの始末をする 〇新しい環境に慣れ、身の回りの始末を自分でしようとする 〇食器に手を添えて食べる 〇友達と一緒に楽しく食べる 〇行きたい時にトイレに行く 〇衣服の着脱を自分でしようとする 〇促されてうがい、手洗いを自分でしようとする 	<ul style="list-style-type: none"> 〇プールの遊びの約束を知り、守ろうとする 〇体を動かして遊ぶことを楽しむ 〇夏の遊びを十分に楽しむ 	<ul style="list-style-type: none"> 〇保育者や友達といろいろな運動遊びを楽しむ 	<ul style="list-style-type: none"> 〇全身を使った活動的な遊びを十分にし、元気に過ごす
人間関係	<ul style="list-style-type: none"> ◎自分の保育室や園庭、トイレなど園内の場所が分かり、使い方を覚える ◎いろいろな遊具や用具があることに気付き、触れて遊ぶ ◎安心できる人や物、場所を見付けて過ごす 〇使った玩具などを保育者と一緒に元の場所に片付ける 〇保育者と一緒に身近な春の自然や飼育物などに触れて遊ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> ◎保育者や友達がいることを、興味を持って見たり真似たりする ◎好きな遊びを見付け、自分の思うように遊ぶ ◎気持ちの通じ合う友達関係ができ、楽しく遊ぶ ◎生活のいろいろな場面や順番を待つことに気付く 	<ul style="list-style-type: none"> ◎友達の上で遊んでいる遊びに仲間入りしようとする ◎異年齢児との触れ合いを楽しむ ◎グループの友達に親しむ 	<ul style="list-style-type: none"> 〇グループやクラス全体で遊ぶことを楽しむ 〇異年齢との交流を喜び、年長児の遊びに関心を持つ
環境	<ul style="list-style-type: none"> ◎自分の保育室や園庭、トイレなど園内の場所が分かり、使い方を覚える ◎いろいろな遊具や用具があることに気付き、触れて遊ぶ ◎安心できる人や物、場所を見付けて過ごす 〇使った玩具などを保育者と一緒に元の場所に片付ける 〇保育者と一緒に身近な春の自然や飼育物などに触れて遊ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> ◎保育者や友達がいることを、興味を持って見たり真似たりする ◎好きな遊びを見付け、自分の思うように遊ぶ ◎気持ちの通じ合う友達関係ができ、楽しく遊ぶ ◎生活のいろいろな場面や順番を待つことに気付く 	<ul style="list-style-type: none"> ◎友達の上で遊んでいる遊びに仲間入りしようとする ◎異年齢児との触れ合いを楽しむ ◎グループの友達に親しむ 	<ul style="list-style-type: none"> 〇グループやクラス全体で遊ぶことを楽しむ 〇異年齢との交流を喜び、年長児の遊びに関心を持つ
言葉	<ul style="list-style-type: none"> ◎挨拶や返事をする ◎保育者に絵本を読んでもらったり、手遊びをしたり歌を歌ったりして楽しい雰囲気味わう 〇絵本や紙芝居を見たり聞いたりする 〇知っている歌をみんなでもって歌う 	<ul style="list-style-type: none"> ◎保育者の語に親しみをもち聞いて聞こうとする ◎いろいろな感情や気持ちをそのまま表す 〇遊びに必要な言葉(貸して、入れて、ありがとう)を覚えて使う 〇経験したことを保育者や友達に話す 	<ul style="list-style-type: none"> ◎「したいこと、してほしいこと、困ったことなどを保育者や友達に伝えようとする 〇遊びの中で友達と会話を交わすことを喜ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> 〇保育者や友達の話に関心を持って聞く
表現	<ul style="list-style-type: none"> 〇土、砂、水、粘土の感触を味わい見立てて楽しむ 〇描くことを楽しむ 	<ul style="list-style-type: none"> 〇いろいろな歌を喜んで歌う 	<ul style="list-style-type: none"> 〇曲に合わせて体を動かすことを楽しむ 〇簡単な楽器遊びを楽しむ 	<ul style="list-style-type: none"> 〇友達と一緒に歌や簡単な楽器遊びを楽しむ 〇絵本やお話を聞きながら思ったことや感じたことを自分なりに表現し、なりきって遊ぶことを楽しむ
内容	<ul style="list-style-type: none"> 〇うがい、手洗い、歯磨きをする ◎保育者や友達がいることを、興味を持って見たり真似たりする ◎好きな遊びを見付け、自分の思うように遊ぶ ◎気持ちの通じ合う友達関係ができ、楽しく遊ぶ ◎生活のいろいろな場面や順番を待つことに気付く 	<ul style="list-style-type: none"> ◎保育者や友達がいることを、興味を持って見たり真似たりする ◎好きな遊びを見付け、自分の思うように遊ぶ ◎気持ちの通じ合う友達関係ができ、楽しく遊ぶ ◎生活のいろいろな場面や順番を待つことに気付く 	<ul style="list-style-type: none"> ◎友達の上で遊んでいる遊びに仲間入りしようとする ◎異年齢児との触れ合いを楽しむ ◎グループの友達に親しむ 	<ul style="list-style-type: none"> 〇グループやクラス全体で遊ぶことを楽しむ 〇異年齢との交流を喜び、年長児の遊びに関心を持つ

【4歳児】 ○教育 ●養護

<p>ねらい</p> <p>○自分でできることに喜びを持ちながら健康、安全など生活に必要な基本的な生活習慣を身に付ける</p> <p>●保健的で安全な環境を作り、快適に遊びや生活ができるようにする</p> <p>●一人一人の子どもの気持ちを受容し、保育者との信頼関係の中で安定した生活ができるようにする</p>	<p>○話を聞いたり経験したりしたことを、いろいろな方法で表現する</p> <p>●健康的で安全な環境を作り、快適に遊びや生活ができるようにする</p> <p>●一人一人の子どもの気持ちを受容し、保育者との信頼関係の中で安定した生活ができるようにする</p>	<p>○話を聞いたり経験したりしたことを、いろいろな方法で表現する</p> <p>●保健的で安全な環境を作り、快適に遊びや生活ができるようにする</p> <p>●一人一人の子どもの気持ちを受容し、保育者との信頼関係の中で安定した生活ができるようにする</p>	<p>○話を聞いたり経験したりしたことを、いろいろな方法で表現する</p> <p>●保健的で安全な環境を作り、快適に遊びや生活ができるようにする</p> <p>●一人一人の子どもの気持ちを受容し、保育者との信頼関係の中で安定した生活ができるようにする</p>	<p>○話を聞いたり経験したりしたことを、いろいろな方法で表現する</p> <p>●保健的で安全な環境を作り、快適に遊びや生活ができるようにする</p> <p>●一人一人の子どもの気持ちを受容し、保育者との信頼関係の中で安定した生活ができるようにする</p>	<p>○話を聞いたり経験したりしたことを、いろいろな方法で表現する</p> <p>●保健的で安全な環境を作り、快適に遊びや生活ができるようにする</p> <p>●一人一人の子どもの気持ちを受容し、保育者との信頼関係の中で安定した生活ができるようにする</p>	<p>○話を聞いたり経験したりしたことを、いろいろな方法で表現する</p> <p>●保健的で安全な環境を作り、快適に遊びや生活ができるようにする</p> <p>●一人一人の子どもの気持ちを受容し、保育者との信頼関係の中で安定した生活ができるようにする</p>	<p>○話を聞いたり経験したりしたことを、いろいろな方法で表現する</p> <p>●保健的で安全な環境を作り、快適に遊びや生活ができるようにする</p> <p>●一人一人の子どもの気持ちを受容し、保育者との信頼関係の中で安定した生活ができるようにする</p>
<p>期</p>	<p>Ⅰ期（4月～5月）</p>	<p>Ⅱ期（6月～8月）</p>	<p>Ⅲ期（9月～12月）</p>	<p>Ⅳ期（1月～3月）</p>			
<p>期</p> <p>のねらい</p>	<p>○新しい環境や保育者に親しみ、安定して遊ぶ。</p> <p>○保育者や友達と一緒に遊ぶことを楽しむ</p> <p>○身近な自然に触れ遊ぶことを楽しむ</p> <p>●一人一人を温かく受け入れ、安心感を持たせ信頼関係を作り、快適に遊びや生活ができるようにする</p>	<p>●一人一人の健康状態を把握していく</p> <p>●一人一人の気持ちを肯定的に受けとめる</p> <p>○身の回りの始末を自分でしようとする。</p> <p>○生活の中の約束や決まりを守ることの大切さを知る</p>	<p>○友達と関わりながら簡単なルールを知り、体を動かしたり、いろいろな遊びをしたりすることを楽しむ</p> <p>○自然物に触れて親しんで遊ぶ</p> <p>○見たこと感じたことを、いろいろな方法で表現することを楽しむ</p> <p>●季節の変化に気を付け、休息を十分に取って、安全で健康的な生活が送れるようにする</p>	<p>●子どもの発達に応じた適度な運動と休息を取れるようにする</p> <p>○薄着の習慣を身に付ける</p> <p>○寒さに負けず、元気に遊び、健康な生活習慣を身に付ける</p> <p>○遊具や用具を使って友達と一緒に思いきり体を動かす</p> <p>○戸外で伸び伸びと体を動かす</p>	<p>○自分なりに考えたり試したりする</p> <p>○経験したことや思ったことを保育者や友達に話す</p> <p>○友達の話に関心をもち、聞いたり話したりする。</p> <p>○読み聞かせてもらった物語の内容がわかり楽しんで聞く</p>	<p>○音楽やリズムにあわせて友達と一緒に歌い体を動かすことを楽しむ</p> <p>○友達とイメージを共有して遊ぶ</p> <p>○劇遊びに必要な物を友達と一緒に作る</p>	<p>○自然物を使った遊びや制作を楽しむ</p> <p>○本や物語の世界に、夢を広げ、表現する</p>
<p>養護</p>	<p>○身の中の約束や決まりを守ることの大切さを知る</p> <p>○身近な遊具、用具、素材に触れる</p> <p>○遊具や用具の安全な遊び方や扱い方を知る</p> <p>○箸や食器の持ち方を知り、正しい姿勢で食べる</p> <p>○友達と一緒に楽しく食べる</p>	<p>○健康な生活に必要な習慣を身に付ける</p> <p>○約束を守ってアール遊びを楽しむ</p>	<p>○いろいろな遊びや用具、素材を使う</p> <p>○秋から冬への自然の移り変わりに興味が持ち遊びに取り入れる。</p>	<p>○いろいろな遊びや用具、素材を使う</p> <p>○秋から冬への自然の移り変わりに興味が持ち遊びに取り入れる。</p>	<p>○自分なりに考えたり試したりする</p> <p>○経験したことや思ったことを保育者や友達に話す</p> <p>○友達の話に関心をもち、聞いたり話したりする。</p> <p>○読み聞かせてもらった物語の内容がわかり楽しんで聞く</p>	<p>○音楽やリズムにあわせて友達と一緒に歌や楽器遊びを楽しむ</p> <p>○感じたことと思ったこと想像したことなどをいろいろな方法で表現する</p>	<p>○自然物を使った遊びや制作を楽しむ</p> <p>○本や物語の世界に、夢を広げ、表現する</p>
<p>健康</p>	<p>○身の回りの始末を自分でしようとする。</p> <p>○生活の中の約束や決まりを守ることの大切さを知る</p> <p>○身近な遊具、用具、素材に触れる</p> <p>○遊具や用具の安全な遊び方や扱い方を知る</p> <p>○箸や食器の持ち方を知り、正しい姿勢で食べる</p> <p>○友達と一緒に楽しく食べる</p>	<p>○健康な生活に必要な習慣を身に付ける</p> <p>○約束を守ってアール遊びを楽しむ</p>	<p>○いろいろな遊びや用具、素材を使う</p> <p>○秋から冬への自然の移り変わりに興味が持ち遊びに取り入れる。</p>	<p>○いろいろな遊びや用具、素材を使う</p> <p>○秋から冬への自然の移り変わりに興味が持ち遊びに取り入れる。</p>	<p>○自分なりに考えたり試したりする</p> <p>○経験したことや思ったことを保育者や友達に話す</p> <p>○友達の話に関心をもち、聞いたり話したりする。</p> <p>○読み聞かせてもらった物語の内容がわかり楽しんで聞く</p>	<p>○音楽やリズムにあわせて友達と一緒に歌や楽器遊びを楽しむ</p> <p>○感じたことと思ったこと想像したことなどをいろいろな方法で表現する</p>	<p>○自然物を使った遊びや制作を楽しむ</p> <p>○本や物語の世界に、夢を広げ、表現する</p>
<p>人間関係</p>	<p>○保育者や友達に、親しみをもち遊ぶ</p> <p>○遊びを通して友達と触れ合うことを楽しむ</p> <p>○異年齢児に親しみをもち遊ぶ</p> <p>○善いことや悪いことに気付く</p> <p>○地域の人と触れ合う</p>	<p>○健康な生活に必要な習慣を身に付ける</p> <p>○約束を守ってアール遊びを楽しむ</p>	<p>○いろいろな遊びや用具、素材を使う</p> <p>○秋から冬への自然の移り変わりに興味が持ち遊びに取り入れる。</p>	<p>○いろいろな遊びや用具、素材を使う</p> <p>○秋から冬への自然の移り変わりに興味が持ち遊びに取り入れる。</p>	<p>○自分なりに考えたり試したりする</p> <p>○経験したことや思ったことを保育者や友達に話す</p> <p>○友達の話に関心をもち、聞いたり話したりする。</p> <p>○読み聞かせてもらった物語の内容がわかり楽しんで聞く</p>	<p>○音楽やリズムにあわせて友達と一緒に歌や楽器遊びを楽しむ</p> <p>○感じたことと思ったこと想像したことなどをいろいろな方法で表現する</p>	<p>○自然物を使った遊びや制作を楽しむ</p> <p>○本や物語の世界に、夢を広げ、表現する</p>
<p>内容</p>	<p>○保育者や友達に、親しみをもち遊ぶ</p> <p>○遊びを通して友達と触れ合うことを楽しむ</p> <p>○異年齢児に親しみをもち遊ぶ</p> <p>○善いことや悪いことに気付く</p> <p>○地域の人と触れ合う</p>	<p>○健康な生活に必要な習慣を身に付ける</p> <p>○約束を守ってアール遊びを楽しむ</p>	<p>○いろいろな遊びや用具、素材を使う</p> <p>○秋から冬への自然の移り変わりに興味が持ち遊びに取り入れる。</p>	<p>○いろいろな遊びや用具、素材を使う</p> <p>○秋から冬への自然の移り変わりに興味が持ち遊びに取り入れる。</p>	<p>○自分なりに考えたり試したりする</p> <p>○経験したことや思ったことを保育者や友達に話す</p> <p>○友達の話に関心をもち、聞いたり話したりする。</p> <p>○読み聞かせてもらった物語の内容がわかり楽しんで聞く</p>	<p>○音楽やリズムにあわせて友達と一緒に歌や楽器遊びを楽しむ</p> <p>○感じたことと思ったこと想像したことなどをいろいろな方法で表現する</p>	<p>○自然物を使った遊びや制作を楽しむ</p> <p>○本や物語の世界に、夢を広げ、表現する</p>

【5歳児】 ○教育 ●養護

<p>ねらい</p>	<p>○健康、安全に必要な基本的な生活習慣や態度を身に付け、意味を理解し行動する ○感じたことなど工夫していろいろな方法で表現する ○集団生活の中で自分の役割やルールを理解し、みんなで協力して行動し、やり遂げた充実感を味わう</p>	<p>○四季折々の自然や身近な動植物に親しみ、美しさ不思議な生命の大切さに気付く ●保健的で安全な環境を作り、快適に遊びや生活ができるようにする ●一人一人の子ども達の気持ちを尊重し、保育者との信頼関係の中で安定した生活ができるようになる</p>	<p>IV期（1月～3月） ○友達と共通の目的を持って取り組み、達成していく楽しさや満足感を味わう ○目標に向かって意欲的に取り組み、役割を分担したり協力したりしてやり遂げる充実感を味わう ○就学に向けて期待感を持って生活する ●一人一人の成長を認め合い、何事にも自信を持って取り組めるようにする ●就学への期待を持ち、卒園・修了までの生活を楽しくめるようにする</p>	<p>III期（9月～12月） ○自分の力を発揮しながら、友達とつながりを深め、試したり工夫したりする ○ルールを理解して集団の楽しさを味わう ○感じたこと考えたことを話し合い、遊びを進める楽しさを知る ●友達と力を合わせてすることで満足感を味わわせ次への意欲を育てる ●季節の変化に気をつけ、休息を十分に取って、安全で健康な生活が送れるようにする</p>	<p>II期（6月～8月） ○夏の遊びを友達と工夫しながら楽しむ ○異年齢児とのつながりを深め、一緒に遊ぶ楽しさを味わう ●衛生、健康管理に気を付け、快適で健康に過ごせるようにする ●年少児に対する思いやりや、いたわりの気持ちが育つよう関わり方を知らせていく ●夏の健康管理（水分補給・休息・帽子をかぶる・清潔）を身に付けるように対応する ●情緒の安定を図り、自分の気持ちを安心して表し、落ち着いて生活ができるようになる</p>	<p>I期（4月～5月） ○年長児になった喜びや自覚を持ち、自分なりの目的を持って遊びを楽しむ ○新しい環境に慣れ、年長児としての自覚を持ち、生活に必要なまじりを守る ○自然に触れ、遊ぶ中で、様々な事象に興味や関心を持つ ●一人一人を温かく受け入れ安心感を持たせ信頼関係を作り、快適に遊びや生活ができるようになる</p>
<p>養護</p>	<p>○年長児としての生活の仕方や態度を身に付ける ○戸外で積極的に体を動かして遊ぶことを楽しむ ○遊具や用具を正しく大切に使い安全に遊ぶ ○健康な生活に必要な習慣を身に付ける ○食べ物と体の関係について関心を持ち、すんで食べようとする</p>	<p>●一人一人の健康状態を把握していく ●一人一人の気持ちや考えを尊重し、保育者との信頼関係ができるようにする</p>	<p>●体調の変化に気がつき適切な対応をすると共に子ども自身から訴えることができるようにする ●一人一人が自分の良さに気が付き互いの良さを認め、励まし合い自信を持って生活できるようにする ○生活の見通しを持って、自分で考えて自分で行動する</p>	<p>○積極的に体を動かし、運動遊びに楽しむ ○遊具や用具を目的に応じてみんなで使う ○薄着の習慣を身に付ける ○一定時間内に食べようとする</p>	<p>○友達と互いの思いや考えを認め合いながら、自主的に遊びを進め、充実感を味わう ○友達とルールを考えながら、力を合わせたり、競い合ったりする</p>	<p>○友達と互いの思いや考えを認め合いながら、自主的に遊びを進め、充実感を味わう ○友達とルールを考えながら、力を合わせたり、競い合ったりする</p>
<p>人間関係</p>	<p>○新しい友達や年少児、地域の人、保育者に親しみ ○高齢者をはじめ地域の人々など自分の生活に関係の深いいろいろな人に親しみを持って関わる ○気の合った友達同士で遊ぶ</p>	<p>○善いことや悪いことがわかり、考えながら行動する ○いろいろな遊びの中で葛藤やトラブルを乗り越えようとする ○外国人など自分とは異なる文化を持った人に親しみをもち</p>	<p>○自分の役割を果たし、やりとげる充実感を味わう ○小学生になる期待や自覚を持ち、自信を持って行動する ○クラスとしてのまとまりや友達との心のつながりを感じる</p>	<p>○自分の役割を果たし、やりとげる充実感を味わう ○小学生になる期待や自覚を持ち、自信を持って行動する ○クラスとしてのまとまりや友達との心のつながりを感じる</p>	<p>○自分の役割を果たし、やりとげる充実感を味わう ○小学生になる期待や自覚を持ち、自信を持って行動する ○クラスとしてのまとまりや友達との心のつながりを感じる</p>	<p>○自分の役割を果たし、やりとげる充実感を味わう ○小学生になる期待や自覚を持ち、自信を持って行動する ○クラスとしてのまとまりや友達との心のつながりを感じる</p>
<p>内容</p>	<p>○身近な物を大切に ○日本の伝統的な行事や伝承遊びを生活に取り入れる ○身近な生き物や自然に親しみ、触れたい世話をしたりする</p>	<p>○身近な動物の成長の様子を知り、愛情を持って世話をし、生命の大切さを知る ○季節の移り変わり、人や動植物の生活に変化のあることに気付く ○身近に働く人々の仕事や地域の行事に関心を持つ</p>	<p>○身近に起こるいろいろな事象に関心を持ち、試したり調べたりする ○身近な動物の成長の様子を知り、愛情を持って世話をし、生命の大切さを知る ○季節の移り変わり、人や動植物の生活に変化のあることに気付く ○身近に働く人々の仕事や地域の行事に関心を持つ</p>	<p>○身近に起こるいろいろな事象に関心を持ち、試したり調べたりする ○身近な動物の成長の様子を知り、愛情を持って世話をし、生命の大切さを知る ○季節の移り変わり、人や動植物の生活に変化のあることに気付く ○身近に働く人々の仕事や地域の行事に関心を持つ</p>	<p>○身近に起こるいろいろな事象に関心を持ち、試したり調べたりする ○身近な動物の成長の様子を知り、愛情を持って世話をし、生命の大切さを知る ○季節の移り変わり、人や動植物の生活に変化のあることに気付く ○身近に働く人々の仕事や地域の行事に関心を持つ</p>	<p>○身近に起こるいろいろな事象に関心を持ち、試したり調べたりする ○身近な動物の成長の様子を知り、愛情を持って世話をし、生命の大切さを知る ○季節の移り変わり、人や動植物の生活に変化のあることに気付く ○身近に働く人々の仕事や地域の行事に関心を持つ</p>
<p>環境</p>	<p>○自分の考えや経験したことを分けるように話す ○親しみをもち日常の挨拶をする ○絵本や物語などに親しみ、興味を持って聞く</p>	<p>○読み聞かせてもらった物語の内容がわかり、イメージを広げる ○いろいろな言葉に関心を持ち、言葉の楽しさや美しさに気付く ○簡単な文字や数・量・図形などに関心を持ち、日常の生活に取り入れて使う</p>	<p>○読み聞かせてもらった物語の内容がわかり、イメージを広げる ○いろいろな言葉に関心を持ち、言葉の楽しさや美しさに気付く ○簡単な文字や数・量・図形などに関心を持ち、日常の生活に取り入れて使う</p>	<p>○読み聞かせてもらった物語の内容がわかり、イメージを広げる ○いろいろな言葉に関心を持ち、言葉の楽しさや美しさに気付く ○簡単な文字や数・量・図形などに関心を持ち、日常の生活に取り入れて使う</p>	<p>○読み聞かせてもらった物語の内容がわかり、イメージを広げる ○いろいろな言葉に関心を持ち、言葉の楽しさや美しさに気付く ○簡単な文字や数・量・図形などに関心を持ち、日常の生活に取り入れて使う</p>	<p>○読み聞かせてもらった物語の内容がわかり、イメージを広げる ○いろいろな言葉に関心を持ち、言葉の楽しさや美しさに気付く ○簡単な文字や数・量・図形などに関心を持ち、日常の生活に取り入れて使う</p>
<p>表現</p>	<p>○経験したことやイメージしたことや体を・音楽・造形などで表現することを楽しむ ○曲に合わせてリズムカルに動く</p>	<p>○いろいろな素材に触れ、工夫して描いたり作ったりする ○曲の感じや歌詞の内容をつかみ、イメージを持って歌う</p>	<p>○絵本や物語を生活や遊びに取り入れ、イメージを豊かにし、様々な表現を楽しむ</p>	<p>○絵本や物語を生活や遊びに取り入れ、イメージを豊かにし、様々な表現を楽しむ</p>	<p>○絵本や物語を生活や遊びに取り入れ、イメージを豊かにし、様々な表現を楽しむ</p>	<p>○絵本や物語を生活や遊びに取り入れ、イメージを豊かにし、様々な表現を楽しむ</p>

資料編

- 1 芦屋市就学前カリキュラムに関連する計画（関係部分抜粋）
 - （1）第4次芦屋市総合計画
 - （2）芦屋市教育振興基本計画
 - （3）芦屋市子ども・子育て支援事業計画

- 2 芦屋市就学前カリキュラム作成の経過

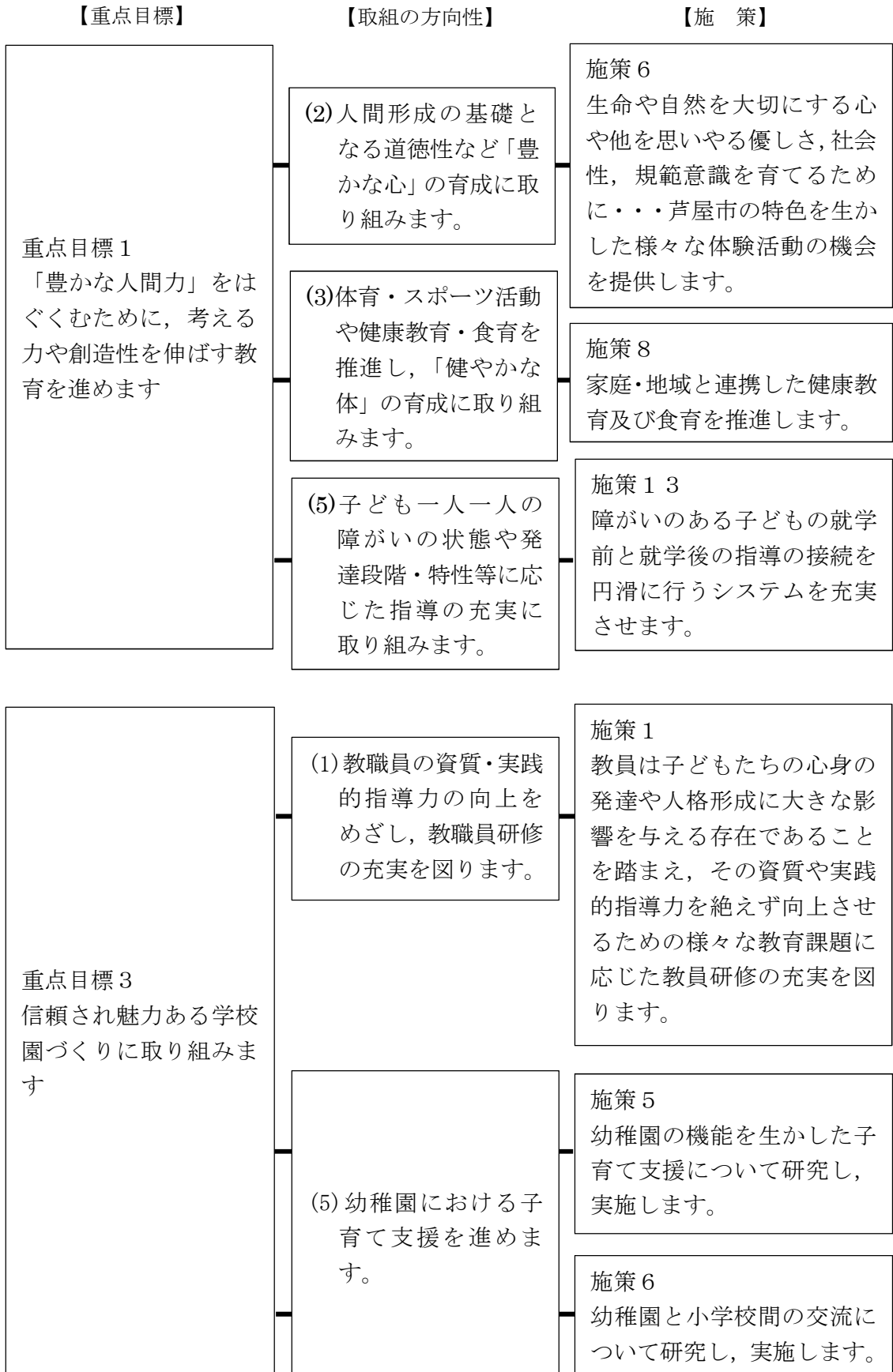
- 3 芦屋市就学前カリキュラム作成会議設置要領

1 芦屋市就学前カリキュラムに関連する計画（関係部分抜粋）

（1）第4次芦屋市総合計画（平成23年3月策定）

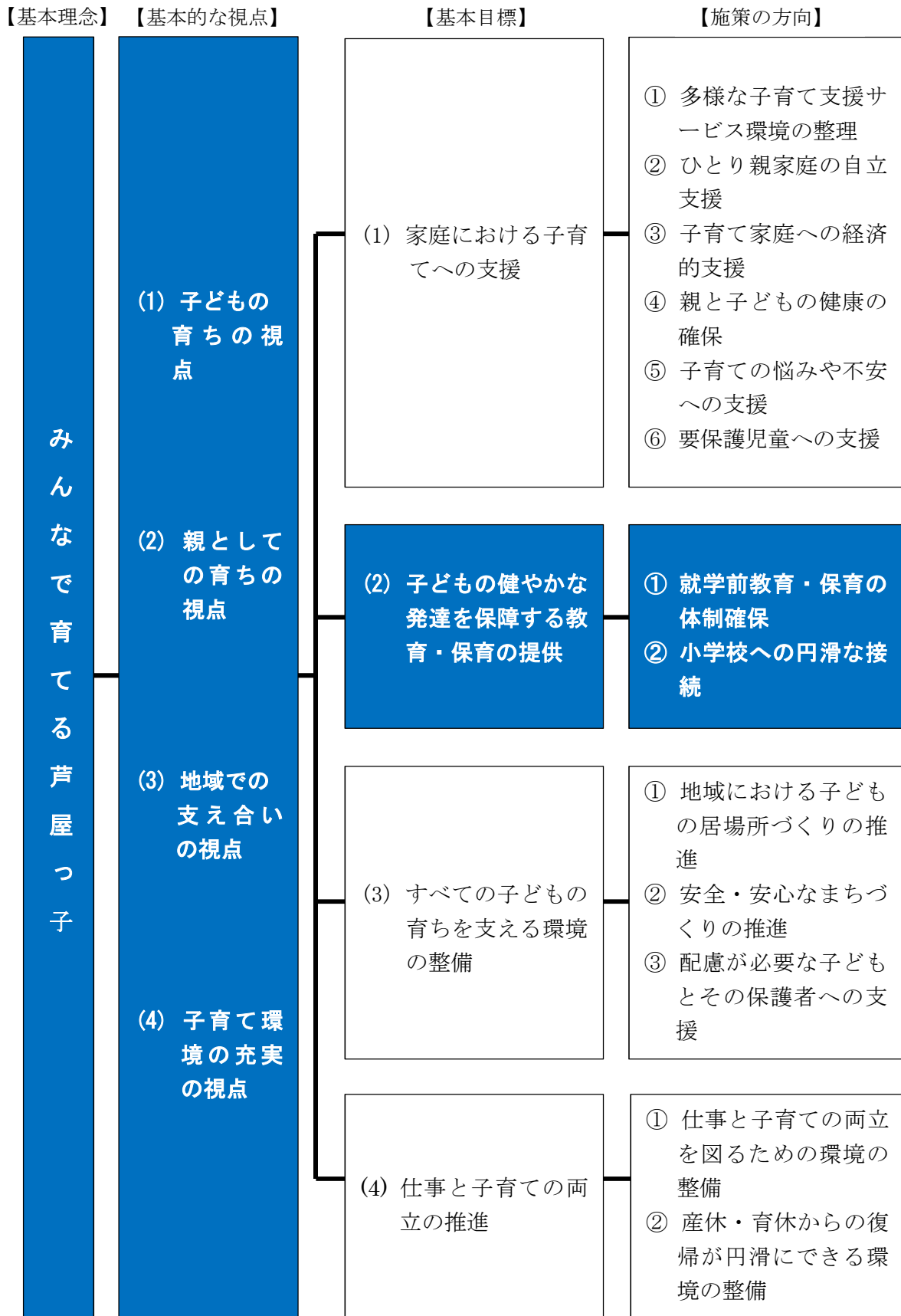
将来像	基本方針	目標とする10年後の芦屋の姿	施策目標
自然とみどりの中で、絆を育み、「新しい暮らし文化」を創造・発信するまち	1 人と人がつながって新しい世代につなげる	1 一人一人のつながりが地域の力を高め、地域主体のまちづくりが進んでいる	1-1 市民一人一人がそれぞれの状況に応じて必要な情報を手に入れられる
			1-2 市民が主体となった活動が増え、継続的に発展している
			1-3 地域主体のまちづくりの仕組みが根付き、地域の力が高まっている
		2 多様な文化・スポーツ・芸術・伝統が交流するまちで、芦屋の文化があふれている	2-1 市民が教養を高める機会が豊富にある
			2-2 様々な交流が、多様な文化への理解と見識を深めている
		3 お互いを尊重しながら理解と思いやりの心が広がっている	3-1 平和と人権を尊重する意識が行き渡っている
			3-2 男女共同参画社会の実現に向けて意識が広がっている
		4 子どもたちが社会へ羽ばたけるようたくましく育てている	4-1 子どもたちが生きる力を身に付け、健やかに成長している
			4-2 青少年が社会で自立するための力を身につけている
			4-3 学校園・家庭・地域が連携して、子どもたちの育成を支えている
		5 地域で安心して子育てができています	5-1 世代を超えた多様なつながりが、様々な家庭の子育てを支えている
			5-2 子育てと仕事の両立を可能にする環境が整っている

(2) 芦屋市教育振興基本計画（平成23年3月策定）



(3) 芦屋市子ども・子育て支援事業計画（平成27年3月策定）

《計画の体系》



《基本目標 2 子どもの健やかな発達を保障する教育・保育の提供》

施策の方向 1 就学前教育・保育の体制確保

【関連事業】

No	事業名	担当課	事業内容
1	一時預かり事業	保育課 管理課 学校教育課	保護者の仕事、疾病、出産、冠婚葬祭等の一時的な理由で家庭での保育が困難となる場合に子どもを預かる。
2	地域型保育事業	保育課	小規模保育事業等を整備し、働きたい時に子どもを預けて働くことができるような環境を整える。
3	教育・保育施設における地域との世代間交流	保育課 学校教育課	運動会や秋祭りの行事等を通じて、中高生、お年寄り、施設の方々と教育・保育施設を利用している子どもたちとの交流を図る。
4	教育・保育施設同士の連携強化と積極的交流	保育課 学校教育課	一貫した就学前教育・保育が行えるように、教育・保育施設同士の連携や積極的な交流を図る。
5	幼稚園教諭、保育士の人材育成と資質の向上	保育課 学校教育課	幼稚園教諭、保育士、保育教諭等としての資質や指導力の向上のため、研修、実習等を通じた人材育成の充実を図る。
6	幼稚園教諭、保育士の処遇改善をはじめとする労働環境への配慮	保育課 学校教育課	幼稚園教諭、保育士の職員配置基準については本市独自の基準を定め、質の高い教育・保育を提供する。
7	子どもの読書のまちづくり事業	保育課 学校教育課 図書館	幼児期から絵本や物語に親しみ、言葉の持つ魅力や響き、美しさを感じるとともに、言葉を使って表現する楽しさを味わう。

施策の方向 2 小学校への円滑な接続

【関連事業】

No	事業名	担当課	事業内容
1	小学校との連携	保育課 学校教育課	教育・保育施設から小学校へのつながりが円滑に行えるように、小学校との連携や積極的な交流を図る。
2	芦屋市就学前カリキュラムの策定、実施	保育課 学校教育課	芦屋市内の教育・保育施設を利用するすべての子どもに平等に、同じ質の教育・保育の提供を推進するため、芦屋市就学前カリキュラムを策定し、実施する。

2 芦屋市就学前カリキュラム作成の経過

実施日	実施事項	内 容
平成 26 年 7 月 4 日	第 1 回芦屋市就学前カリキュラム作成会議	芦屋市就学前カリキュラム（素案）について
7 月 14 日	第 1 回検討会	芦屋市就学前カリキュラム（素案）について
7 月 29 日	第 2 回芦屋市就学前カリキュラム作成会議	芦屋市就学前カリキュラム（素案）について
11 月 25 日	第 2 回検討会	芦屋市就学前カリキュラム（素案）について
11 月 28 日	第 3 回検討会	芦屋市就学前カリキュラム（素案）について （学識者より指導助言）
12 月 22 日	第 3 回芦屋市就学前カリキュラム作成会議	芦屋市就学前カリキュラム（素案）について
平成 27 年 1 月 8 日	第 4 回芦屋市就学前カリキュラム作成会議	芦屋市就学前カリキュラム（素案）について
1 月下旬	公立幼稚園・公立保育所職員説明会	公立幼稚園・公立保育所職員からの意見集約
2 月 5 日	第 5 回芦屋市就学前カリキュラム作成会議	芦屋市就学前カリキュラム（素案）について
2 月 16 日	庁議報告	芦屋市就学前カリキュラムについて報告
2 月 20 日	教育委員会報告	芦屋市就学前カリキュラムについて報告
3 月 5 日	民生文教常任委員会報告	芦屋市就学前カリキュラムについて報告

3 芦屋市就学前カリキュラム作成会議設置要領

(設置)

第1条 芦屋市就学前カリキュラム（以下「カリキュラム」という。）を作成するため、芦屋市就学前カリキュラム作成会議（以下「作成会議」という。）を設置する。

(所掌事務)

第2条 作成会議は、次に掲げる事務を所掌する。

- (1) カリキュラムの作成に関すること。
- (2) その他必要な事項に関すること。

(組織)

第3条 作成会議は、下記の委員をもって組織する。

- (1) こども・健康部長
- (2) 管理部長
- (3) 学校教育部長
- (4) こども政策課長
- (5) 保育課長
- (6) こども・健康部主幹（学校教育部主幹兼任）
- (7) 管理課長
- (8) 保育課係長
- (9) 学校教育課主査（こども政策課主査兼任）

(任期)

第4条 委員の任期は、カリキュラム作成終了までとする。

(委員長及び副委員長)

第5条 作成会議に、委員長及び副委員長を置く。

- 2 委員長はこども・健康部長をもって充てる。
- 3 委員長は作成会議を総括する。
- 4 副委員長は、委員の中から委員長が指名する。
- 5 副委員長は、委員長を補佐し、委員長不在の時には、その職務を代理する。

(会議)

第6条 作成会議は、委員長が招集する。

- 2 作成会議は、委員の過半数が出席しなければ、会議を開くことができない。

(意見の聴取等)

第7条 作成会議は必要があると認めるときは、委員以外のものを会議に出席させて意見を聴き、又は、説明若しくは資料の提出を求めることができる。

(庶務)

第8条 作成会議の庶務は、こども・健康部が行う。

(委任)

第9条 この要項に定めるもののほか、作成会議の運営に関し必要な事項は、委員長が作成会議に諮って定める。

附 則

この要領は、平成26年7月1日から施行する。

【芦屋市就学前カリキュラム作成会議委員名簿】

役 割	区 分	備 考
委員長	こども・健康部長	三井 幸裕
副委員長	学校教育部長	伊田 義信
委 員	管理部長	山口 謙次
	こども 政策課長	宮本 雅代
	保育課長	伊藤 浩一
	管理課長	小川 智瑞子
	学校教育部主幹 (こども・健康部主幹併任)	中塚 景子
	保育課係長	長澤 淳子
	学校教育課主査 (こども政策課主査併任)	山中 朱美

芦屋市就学前カリキュラム

発行日 平成27年3月

発行 芦屋市・芦屋市教育委員会
〒659-8501

兵庫県芦屋市精道町7番6号